

「東松島市人口ビジョン・第 2 期総合戦略」について

東松島市では、全国的な人口減少社会が到来する中、本市における人口の維持及び減少緩和に向け、平成 27 年度に策定した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」（平成 27 年度～令和元年度）の基本目標を踏まえながら、これまで様々な取組を進めてまいりました。

このような中で、今般、国・宮城県の総合戦略や、本市の進める SDGs の目標等との連動を図った上で、本市総合計画と同様に計画期間を令和 7 年度までとする「東松島市第 2 期総合戦略」を策定いたしました。

具体的な内容としては、令和 2 年度を初年度とし、令和 7 年度に向けた基本目標、施策の基本的方向、具体的な施策を示し、更なる雇用の創出、移住・定住人口の拡大、子育て支援環境の充実等を進めることにより、人口の維持を図り、将来にわたって活力のある東松島市を目指す内容となっております。

今後、別添の概要版を市内各戸に配布し、市民への周知を図りながら、地方創生・SDGs をはじめ関係する取組を推進してまいります。

【人口ビジョン・第 2 期総合戦略の概要】

1 人口ビジョン

本市人口は、人口増加に向けた策を講じない場合、2045 年に 30,125 人まで減少。
⇒2045 年に 33,000 人（+2,875 人）の人口を維持することを目標とする。

2 第 2 期総合戦略（計画期間 令和 2 年度～令和 7 年度）

(1) SDGs との連動

被災地で最初の「SDGs 未来都市」として、SDGs の理念を踏まえ、持続可能なまちづくりを進めていく。

(2) 4 つの基本戦略

従来の総合戦略の構成を踏襲し、かつ、国や県の総合戦略にも沿い、以下の 4 つの基本戦略を設定。

- ① 東松島市への移住・定住の流れをつくる
- ② 安定した雇用を創出する
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る